

株主の皆様へ

第69期第2四半期のご報告

平成29年4月1日から平成29年9月30日まで



おしゃれのとなりに
株式会社 **フジックス**
証券コード：3600

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜りまして厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループの第69期第2四半期(平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)における営業の概況と決算につきまして、下記の通りご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境は引き続き改善傾向で推移するなど、緩やかな回復基調が続きましたが、個人消費は力強さに欠け、まだら模様であり、海外の政治的、地政学的リスクの高まりなどもあり、先行きの不透明感は払拭されません。

当社グループが関連するファッションアパレル業界や手作りホビー業界におきましては、消費者の節約志向や慎重な購買行動が続き、服飾材料である縫い糸の事業を取り巻く環境は、回復感に乏しい状況で推移しました。

このような状況のなか、当社グループにおきましては、グループ各社が収益力の回復に向けてそれぞれの課題に取り組んでおりますが、日本向け衣料品の生産が、一部を除いて慎重であったこと、手づくり手芸分野も引き続き低調であったことから、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,180百万円(前年同期比2.0%減)となりました。

一方利益面につきましては、アジアセグメントにおきましては中国生産子会社の収益性の回復やタイおよびベトナムにおける増収により、増益となりましたが、日本セグメントにおける売上高の減少や原価率の上昇等が響いて、営業利益は17百万円(前年同期比7.3%減)、経常利益は44百万円(前年同期比7.8%減)となりました。

また、第1四半期連結会計期間に計上した中国子会社における固定資産売却益などもあり、親会社株主に帰属する四半期純利益は30百万円(前年同期比41.9%増)となりました。

株主の皆様におかれましては一層のご支援をお願い申し上げます。

平成29年12月

代表取締役社長 **藤井 一郎**

セグメント別の概況

日本

当社グループにおきましては、事業年度の末日を、当社は3月末日、国内子会社は1月末日と定めており、当第2四半期連結累計期間には、当社の平成29年4月から9月まで、国内子会社は平成29年2月から7月までの業績が連結されており、各社の状況には若干の差異が見られますが、総じて国内消費は引き続きまだら模様で力強さに欠け、衣料品や手作りホビーの分野では節約志向も強く、購買行動は慎重で、これらに伴い縫い糸を始めとする服飾付属品の受注も低調に推移しました。

このようななか、当セグメントにおきましては、グループ各社が新規取引先の開拓や、既存取引先との関係強化、新製品の発売等、売上高の維持回復に努めましたが、当セグメントの売上高は2,561百万円(前年同期比1.1%減)にとどまりました。

また利益面につきましては、原料価格上昇による原価率上昇や、売上品目構成の変動などによる減益要因もあり、セグメント損失は22百万円(前年同期は15百万円の利益)となりました。

アジア

当セグメントに属する全ての海外子会社は、事業年度の末日を12月末日と定めており、当第2四半期連結累計期間には、平成29年1月から6月までの業績が連結されております。

日本での衣料品消費が低調なことや消費者の購買行動の変化などから、日本向け衣料品については、全般に生産の抑制傾向が続いている上に、さらなる短納期化や小ロット化が求められ、これらに伴い、中国からアジア各国に分散する傾向にあった日本向け衣料品の縫製については、一部には中国への回帰傾向も見受けられます。

このようななか、当社グループにおきましても、中国での縫い糸販売に下げ止まり傾向が見られるものの、当四半期における為替換算レートが前年同期と比較して円高に推移した影響もあって、当セグメントの売上高は619百万円(前年同期比5.8%減)となりました。

一方利益面につきましては、中国生産子会社の収益性が回復傾向にあることや、タイおよびベトナムにおける増収とコスト削減が寄与したことで、セグメント利益は38百万円(前年同期比668.2%増)となりました。

Topics

常州英富紡織有限公司がフジックスグループに加わりました

当社は、平成29年6月常州英富紡織有限公司(中国・常州市)の持分を追加取得して、子会社化いたしました。燃糸加工に特化した同社をフジックスグループに加えることで、海外生産拠点網の機動性の向上や生産コストの削減を目指してまいります。

これからも、アセアン地域を中心に広がる生産販売拠点網を活用して、業績の拡大、企業価値の向上に努めてまいります。



ホームページのご案内

IR情報や製品情報など、当社について幅広く掲載しています。また、手づくりファンのための情報サイト「そーいんぐ.com」では、手づくりレシピや手づくりコンテスト、ぬい糸選びチャートなど様々なコンテンツをご用意しております。

<http://www.fjx.co.jp/>



連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期	当第2四半期	増減
資産の部			
流動資産	6,640	6,764	124
固定資産	3,641	3,669	28
有形固定資産	2,154	2,119	△ 35
無形固定資産	261	297	36
投資その他の資産	1,225	1,252	26
資産合計	10,281	10,434	152
負債の部			
流動負債	774	957	182
固定負債	699	651	△ 48
負債合計	1,474	1,609	134
純資産の部			
株主資本	7,613	7,557	△ 56
その他の包括利益累計額	527	573	45
非支配株主持分	666	695	28
純資産合計	8,807	8,825	17
負債・純資産合計	10,281	10,434	152

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前第2四半期	当第2四半期	増減
売上高	3,246	3,180	△ 65
売上原価	2,352	2,311	△ 40
売上総利益	894	869	△ 25
販売費及び一般管理費	876	852	△ 23
営業利益	18	17	△ 1
営業外収益	41	39	△ 2
営業外費用	12	12	△ 0
経常利益	48	44	△ 3
特別利益	—	42	42
特別損失	0	5	5
税金等調整前四半期純利益	47	80	33
法人税・住民税及び事業税	21	30	8
法人税等調整額	4	6	2
四半期純利益	21	44	22
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	13	13
親会社株主に帰属する四半期純利益	21	30	8

注 国内連結子会社は平成29年2月から7月(1月決算)、海外連結子会社は平成29年1月から6月(12月決算)の業績が連結されております。

●貸借対照表のポイント

- ・流動資産の主な増加要因は、受取手形及び売掛金が増加したことによるものです。
- ・流動負債の主な増加要因は、買掛金が増加したことによるものです。

●損益計算書のポイント

グループ各社が収益力の回復に向けてそれぞれの課題に取り組んでおりますが、日本向け衣料品の生産が、一部を除いて慎重であったこと、手づくり手芸分野も引き続き低調であったことから減収となりました。

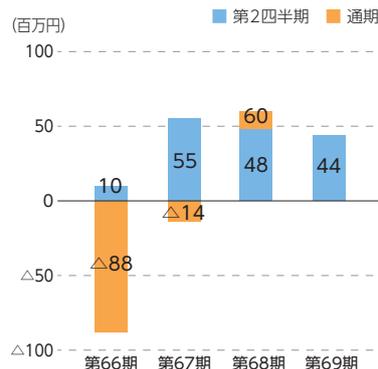
利益面につきましては、アジアセグメントにおきましては中国生産子会社の収益性の回復やタイおよびベトナムにおける増収により、増益となりましたが、日本セグメントにおける売上高の減少や原価率の上昇等が響いて、営業利益・経常利益ともに減益となりました。

また、第1四半期連結会計期間に計上した中国子会社における固定資産売却益などもあり、親会社株主に帰属する四半期純利益は増益となりました。

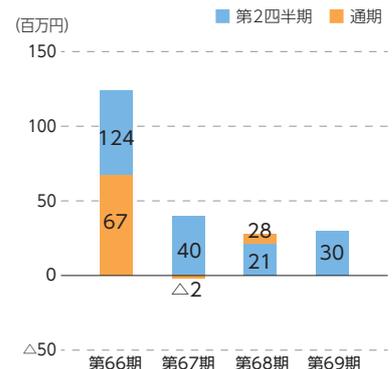
■売上高



■経常利益



■純利益



● 会社の概要 (平成29年9月30日現在)

事業内容

家庭用縫い糸及び工業用縫い糸・刺しゅう糸並びに各種糸の製造、販売を主たる事業としております。また、これらの原材料及び半製品の販売並びに手芸関連商品及び縫製副資材等の販売も行っております。

創業 大正10年(1921年)3月

設立 昭和25年(1950年)1月

資本金 923,325,000円

従業員数 132名*パート25名を含む(連結452名)

事業所

本社	管理部 営業本部	京都市北区
東京支店	営業部	東京都台東区
滋賀事業所	生産本部 物流部 研究開発室	滋賀県東近江市
東北物流センター	物流部門	秋田県横手市

● 役員 (平成29年9月30日現在)

代表取締役 藤井 一郎 取締役社長

専務取締役 山本 和良 管理部長

常務取締役 松岡 繁生 営業本部長(アジア総代表)

取締役 木村 宜夫 生産本部長

取締役 川嶋 伸久 アパレル資材アジア営業統括

社外取締役 山田 善紀 公認会計士

社外取締役 八木 康雄

常勤監査役 枚山 広幸

社外監査役 中野 雄介 公認会計士

社外監査役 吉田 薫 弁護士

● グループ会社

国内グループ会社

株式会社FTC 京都市北区

株式会社シオン 秋田県横手市

株式会社ニットマテリアル 山梨県甲府市

海外グループ会社

上海富士克制線有限公司 中国・上海市

上海富士克貿易有限公司 中国・上海市

上海新富士克制線有限公司 中国・上海市

常州英富紡織有限公司 中国・常州市

富士克国際(香港)有限公司 中国・香港

上海福拓線貿易有限公司 中国・上海市

FUJIX VIETNAM Co.,Ltd. ベトナム・ホーチミン

FUJIX INTERNATIONAL Co.,Ltd. タイ・バンコク

● 株式の状況 (平成29年9月30日現在)

発行可能株式総数 19,945,000株
(平成29年10月1日より3,989,000株に変更致しました。)

発行済株式の総数 7,340,465株
(平成29年10月1日より1,468,093株に変更致しました。)

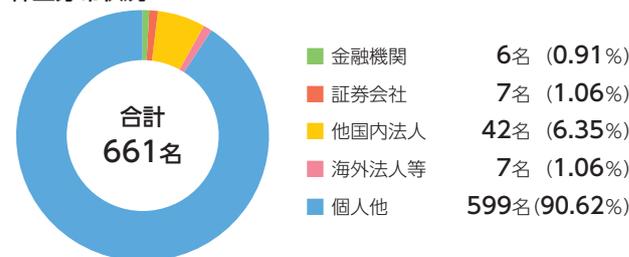
株主数 661名

大株主

	保有株式数(千株)	持株比率(%)
(株)FJ興産	793	11.51
藤井多鶴子	577	8.38
小原京子	430	6.24
森本町子	342	4.96
鈴木直子	342	4.96
藤井一郎	220	3.19
藤井太郎	214	3.10
(株)三井住友銀行	184	2.68
三木隆明	172	2.49
(株)京都銀行	166	2.41

当社は、自己株式455千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を除外して計算しております。

株主分布状況



● 株主メモ

当社は平成29年10月1日を効力発生日として、株式併合及び単元株式数の変更を行いました。

なお、株主様におかれましては、特に必要なお手続きはございません。

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

基準日 定時株主総会・期末配当金：3月31日
中間配当を行うとき：9月30日

定時株主総会 毎年6月

単元株式数 100株

株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
大阪市中央区北浜四丁目5番33号

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 0120-782-031

公告方法 電子公告としております。(http://www.fjx.co.jp)

株主様の住所変更等お届け及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願い致します。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。